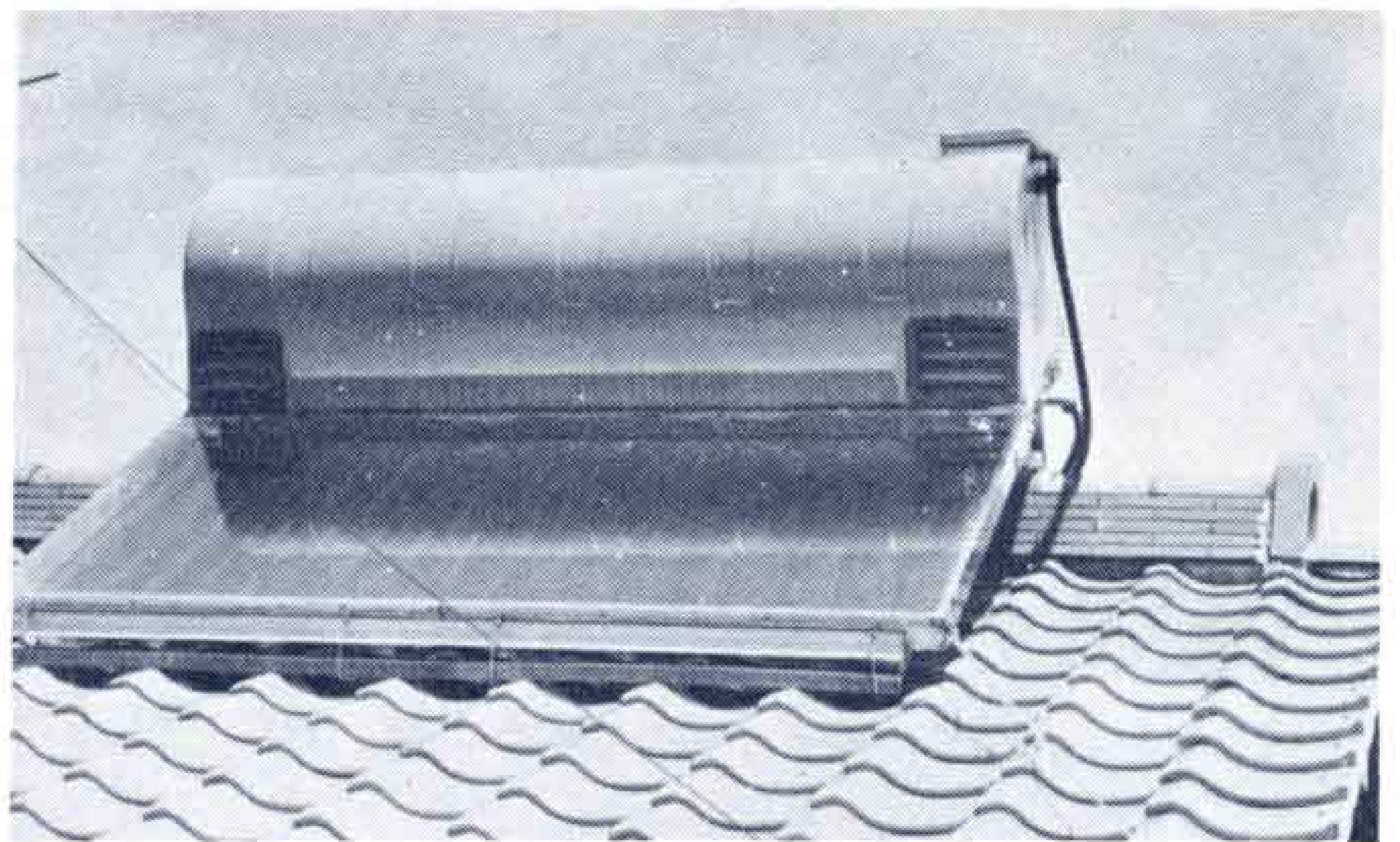


わが家の省エネ対策

太陽熱温水器に補助金

市は、省エネルギー対策として、太陽熱温水器補助金制度を実施しています。これは、太陽熱温水器を設置した人に、補助金を交付するというもので、県下でも初めての試みです。補助金の交付期間は、昭和58年3月31日までです。

わが家の省エネに、あなたもこの制度を利用してはいかがですか。



● 今年はずでに

140件が申込み…

ふだん何気なく使っている電気やガス・石油などのエネルギー……。

私たちの生活にとってエネルギーのめぐみは、はかり知れないものがあります。

ところが、最近よく「省エネ」ということばが口にされ、「むだのない上手なエネルギーの使い方をくふうしなければ、やがてエネルギーを十分まかなえなくなる。」といわれています。

こうした中で、太陽熱を利用した温水器は、まさに省エネ、代替エネルギーの典型として、注目されつつあります。昭和30年代に爆発的ブー

ムを起し、その後、下火となった太陽熱温水器ですが、現在は、品質、性能も改良され、再び人気を呼んでいます。

温水器補助金制度は、昨年7月から実施しましたが、その利用状況は、55年度が317件、56年度が8月13日現在で140件ありました。

今年度は、まだ余裕がありますので希望者は早めに申込んでください。

補助限度額は3万円

補助の対象となる人は、市内に1年以上住み、年間の合計所得が1,000万円以下で、市税を完納している人。

補助金の額は、3万円が限度です。申込み方法は、補助金交付申請書と関係書類を、市役所2階の市民生活課へ提出してください。対象となる温水器には、集熱部と貯湯部が一体となった「くみ置き型」と、分離した「自然循環型」があります。

これら温水器の共通機能としては、集熱性、保温性、出湯性、の3つのバランスが大切です。

温水器を選ぶ場合は、安全性・耐久性を十分に確かめてください。

補助金制度についての問合せは市民生活課へ ☎51-0123 内線248

火災の心配もなく



井上初江さん

(五十九歳)
新町

以前、古い温水器を使ったことがあるんですが、去年の暮れに新しいのを取付けました。お天気のいい日は、蛇口をひねるとすぐにお湯が出るので便利です。うちは少人数ですが、温水器を取付けてからは、ガス代が節約できます。夏だと月三千円位で済みます。それに、火を使うことがないので、火災の心配もなく安心です。温水器は、省エネルギーにもってこいです。



岡田恭子さん

(三十五歳)
中比奈

去年の九月、市で、太陽熱温水器に補助金を出してくれることを知り、さっそく取付けました。夏は、ふろのお湯が熱すぎる位です。冬でも晴れている日は、少し加熱する程度で、お湯が沸きまです。でも、雨の日はだめです。温水器も年々、改良されて便利になっていくようですね。冬のガス代は、取付ける前が、一万円以上でしたが、現在は六千円位で済みます。とにかく燃料費が安上がりです。

ガス代が節約できるわ